

第4回奈良公園地区整備検討委員会 議事概要

- 日 時 : 平成 23 年 12 月 26 日(月)14:00~16:00
- 場 所 : 奈良県新公会堂 1 階 会議室1・2
- 出 席 者 : 別紙のとおり
- 一般傍聴者 : 0名

【奈良公園基本戦略の策定について】

(基本戦略全体について)

- 基本戦略の施策体系について、この形が基本ではないかと思う。
- 奈良公園の様々な事業を体系的に位置づける必要があるため、奈良公園の本質的価値を洗い出し、課題を整理し、それを解決するためどうしていくのかを示すのが基本戦略だと認識している。
- 基本戦略を具体的なマスタープラン的なものにつなげていかないと、事業の整合性を図れなくなることを危惧しており、どのような枠組みで調整していくのか検討して頂きたい。

(奈良公園の価値について)

- 奈良公園は都市の中の貴重な自然であるとともに、貴重な文化遺産であることが最初にあってしかるべきだと思う。
- 自然資源、歴史・文化資源、公園資源といった奈良公園の個々の様相をしっかり捉えているが、個々の資源がバラバラに存在していることでなく、個々の要素が1つの土地の中に複合的に絡み合いながら存在していることが奈良公園の世界に誇れる価値である。
- 奈良公園の価値について、要素を挙げているに留まっているのが残念である。
- 市街地の中によく残った公園ということをもう少し出すべきでないか。
- 人が住んでいる近くに原生林がそのまま残っているという奈良公園の凄さを奈良公園の価値に示して欲しい。
- 若草山からの見晴らしの良さに感動されてリピーターも増えており、もう少しアピールして欲しい。

(現状と課題について)

- 課題に環境面の表現が見られず、施策も抜けているのではないか。

(基本方針について)

- 公園資源の利用に関して、背景に自然、歴史・文化資源があることに配慮する必要があるが、これに関する記述が無い。
- 奈良公園の本質的な価値はできるだけ保存して活かしていき、その上に立った基本戦略を考えていきたいということを強調した構成にしていけば良い。

(重点的な取組について)

- 維持と利活用がバラバラに進んでいるような書き方がされているので、バランスをとっていくことが大事だと思う。
- 社寺や民間や宿泊施設などが協力して、それを県がトータルマネジメントしていくという表現をする必要がある。
- 取組体制について、官民手を取り合っるといったイメージ表現ができないか。
- 県が個々の色んなものを全体的に調整しつつ行うものであるといった文言を全面的に出した方が良い。
- トイレの充実や案内板の整備など、歩いて回って嫌な思いをしない、また来たいと思えるようにすることが大事である。
- 何回も来たいと思われる方々向けの、少し上級のな感の宿泊を伴うお客様を増やすということが必要ではないか。
- 環境保全の重要性も十分に理解できるが、今、開発されていない、もしくはある程度手が入っていないところを幾らか活用するようなことも考えていくことが基本戦略だと思う。
- 奈良公園は1日で回りきれない観光施設があり、リピーターとしてもう一度奈良に来て頂くための情報発信が必要ではないか。
- ぐるっとバスのルートについて、JR奈良駅もルートに加えて、正倉院やならまちにもまわってもらい、歩けないところに行けるぐるっとバスであって欲しい。
- JR奈良駅から若草山を見た場合、看板が多くて景観上、問題だと感じる。
- 奈良公園を全部、歩行者天国にするなど、高齢者等に配慮した上で、思い切ったことができないか。
- イベント等で奈良公園を使う側からすると、イベントがしやすい場所だったら良いと思う。